

通し番号	5076
------	------

分類番号	R03-2B-12-01
------	--------------

とげがなく果形が安定した多汁質なナス新品種‘かな紫’を育成しました

[要約] ナス新品種‘かな紫’（以下「ES11×MS38」）は、茎、葉身及びへたにとげが無く多汁質で、当所育成ナス品種‘サラダ紫’より空洞果、つや無し果及び色ムラ果の発生率が低く、上果収量が多いナスである。

神奈川県農業技術センター・生産技術部

連絡先 0463-58-0333

[背景・ねらい]

当所育成品種‘サラダ紫’は、多汁質な水ナス系の品種であり、切り口が変色しにくく、生食可能という特徴があるが、とげを有することや果形が安定しない欠点がある。そこで、‘サラダ紫’の親系統を改良し、とげがなく果形が安定した多汁質なナスを育成する。

[成果の内容・特徴]

- 1 ‘サラダ紫’の親系統「E5806」及び「M06」と‘SL紫水’を交配して得られた「ES11」と「MS38」を交配し、F₁系統「ES11×MS38」を育成した（図1、2）。
- 2 「ES11×MS38」は、茎、葉身及びへたにとげが無い。葉身の緑色は‘サラダ紫’ > 「ES11×MS38」 > ‘SL紫水’である。倒卵型の果実は、果実の長さ/直径が‘サラダ紫’より小さく、‘SL紫水’より大きい（表1）。
- 3 「ES11×MS38」は‘サラダ紫’より空洞果、つや無し果及び色ムラ果の発生率が低く、上果収量が多い（表2）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 2022年2月28日に品種登録出願（品種登録出願番号第36037号）し、同年6月20日に出願公表された。
- 2 本試験研究成果は、4月下旬に第1段花房開花前の苗を露地圃場に定植し、夏秋作型で栽培したものである。
- 3 病害抵抗性及び虫害の発生は‘SL紫水’と同程度であり、適切な病虫害防除を心掛ける。
- 4 ‘サラダ紫’同様、果実の肥大に水分を多く必要とするため、灌水設備を設けて栽培する。

[具体的データ]

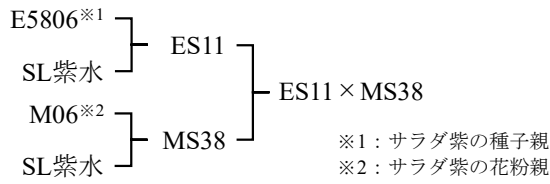


図1 「ES11×MS38」の育成系統図



図2 「ES11×MS38」の果実外観
 白線は10cmの長さを示す。

表1 農林水産植物種類別審査基準「ナス属」に基づいた各系統及び品種の形質

形質	系統・品種		
	ES11×MS38	サラダ紫	SL紫水
茎のとげの有無	無	有	無
葉身のとげの有無	無	有	無
へたのとげの多少	無	中	無
葉身の緑色の濃淡	やや濃	濃	中
果実の長さ/直径	1.9	2.0	1.8

表2 系統・品種別収量特性^z

系統・品種	総収量			上果収量 (kg/株)	障害果発生割合(果数%)		
	(個/株)	(g/個)	(kg/株)		空洞果	つや無し果	色ムラ果
ES11×MS38	89	134	11.9	7.2	5.7	4.0	7.0
サラダ紫	108	131	14.1	5.0	19.2	10.2	17.2
SL紫水	91	139	12.7	8.5	4.2	1.8	5.3

^z: 2021年5月28日から同年9月30日にかけて行った。(n=6)

- [資料名] 令和3年度試験研究成績書
- [研究課題名] とげがなく果形が安定した多汁質なナス品種の育成
- [研究期間] 2014(平成26)年度～2021(令和3)年度
- [研究者担当名] 小泉明嗣、上西愛子
- [協力・分担関係]